

News Clip & AV Material

◆ ニュースクリップ&映像教材



■日本視聴覚教育協会「教育ICT活用事例集」60事例、「ICT教育活用事例映像集」5事例を新たに公開

日本視聴覚教育協会では、文部科学省委託による「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」事業において、全国から収集した実践事例の中から、新たに60事例を公開するとともに、学びのイノベーション事業実証校でのタブレットPC等を活用した事例を含む5事例を「ICT教育活用事例映像集」として新たに公開した。(http://www.educt.jp)

AV情報

■文化庁「平成25年度著作権セミナー」開催

文化庁では、著作権に関する基礎的な理解を深め、もって著作権制度の知識や意識の向上を図ることを目的に標記セミナーを開催する。

〈期日・会場〉 以下、全国16か所。

- 平成25年8月8日(木) ウェディングプラザ アラスカ(青森県青森市新町1-11-22)
- 平成25年11月22日(金) 盛岡地域交流センター マリオス(岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1)
- 平成25年9月4日(水) 宮城県庁講堂(仙台市青葉区本町3-8-1)
- 平成25年11月15日(金) 千葉市生涯学習センターホール・大研修室(千葉市中央区弁天3-7-7)
- 平成25年10月10日(木) 横浜情報文化センター情文ホール(横浜市中区日本大通11)
- 平成25年7月31日(水) 新潟県立生涯学習推進センター(新潟市中央区女池南3-1-2)
- 平成25年8月22日(木) 静岡県庁別館20階第一会議室(静岡市葵区追手町9-6)

- 平成25年10月18日(金) ウイルあいち(愛知県女性総合センター)(名古屋市東区上笠杉町1)
 - 平成25年11月12日(火) 京都テルサセミナー室(京都市南区東九条下殿田町70京都市府民総合交流プラザ内)
 - 平成25年8月6日(火) 国際ファミリープラザ(鳥取県米子市加茂町2-180)
 - 平成25年8月27日(火) テクノアークしまね(島根県松江市北陵町1)
 - 平成25年10月22日(火) 山口県健康づくりセンター(山口県山口市吉敷下東3-1-1)
 - 平成25年7月29日(月) 香川県庁会議室・県庁ホール(香川県高松市番町4-1-10)
 - 平成25年8月30日(金) 愛媛大学(愛媛県松山市文京町3)
 - 平成25年10月30日(水) 高知会館(高知県高知市本町5-6-42)
 - 平成25年11月6日(水) 沖縄県市町村自治会館大会議室(沖縄県那覇市旭町116-37)
- 詳細は、下記を参照のこと。http://www.bunka.go.jp/chosakuken/seminar/h25_seminar.html
〈問い合わせ先〉 文化庁長官官房著作権課著作権普及係 TEL 03-5253-4111(内線3169)

▶ブックレビュー


**「博物館情報・
メディア論」**

日本教育メディア学会編集
ぎょうせい発行
2013年2月発刊 B5判 197頁
本体2,381円+税

平成21年の文部科学省令による学芸員養成科目の改正により「博物館情報・メディア論」が新設されたことは周知の通りである。本書は、この新たな科目の教科書として編まれたものである。

当該科目は、博物館が有する情報のさらなる発信・活用を涵養させることを目的に既存の「博物館情報論」・「視聴覚メディア論」の両科目の統合から成った科目である。この評価については種々の考え方があるが、内容としては「博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養う。」とするところからも、木に竹を接ぐと

いった不適合さは認められないものと看取される。

博物館情報は、博物館のすべての機能及びその具体であるといっても過言ではない。したがって、これらの情報は展示論・資料論・教育論・経営論等のそれぞれの範疇に当然含まれるものであるから不要かという決してそうではない。あくまで「情報」という括りで編成することが印象性を強める意味で重要なのである。

つまり、概説展示と課題展示の違いである。

また、メディアに対する捉え方も多数あるが編者を代表する小笠原喜康氏は、コミュニケーションを成り立たせる発信のための技術的問題と捉えるのみではなく、カナダトロント大学の教授であったマーシャル・マクルーハンが唱えた如くの「汎メディア論」的観点で、博物館自体をメディアと定義している所に氏の学術的広視座が認められるのである。

構成は、12章からなる。章・節によっては展示論的・教育論的となっている箇所も見受けられるが、全体的には「博物館情報・メディア論」を理解し易くなっている。章末にミニ演習問題を布置していることも特徴である。

(國學院大學文学部教授 青木豊)

■ 国立情報学研究所オープンハウス2013

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所では、研究成果発表会を開催し、研究所を一般公開する。

〈日時〉 平成25年6月14日(金) 11:00~18:00、
15日(土) 11:00~17:00

〈会場〉 学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

〈内容〉 基調講演「テレビを通して社会を見るー大規模放送映像アーカイブの解析による社会分析の挑戦」他、ポスター展示、セッション・ミニレクチャー等。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nii.ac.jp/event/openhouse/>

〈問い合わせ先〉 国立情報学研究所

TEL 03-4212-2131

■ 第21回3D&バーチャルリアリティ展

リードエグジビジョンジャパン(株)主催により、標記展示会が開催される。

〈日時〉 平成25年6月19日(水)~21日(金)
10:00~18:00(21日(金)のみ17:00終了)

〈会場〉 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

〈内容〉 超高精細映像表示装置、超高速カメラ、3D映像/3Dシネマ、3Dサウンド、バーチャル空間/CG像処理技術に関する展示会など。詳細は、下記を参照のこと。<http://www.ivr.jp/>

〈問い合わせ先〉 3D&バーチャルリアリティ展事務局リードエグジビジョンジャパン(株)

TEL 03-3349-8506

コンクール情報
■ 第40回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

NHKでは、音と映像を用いた教育コンテンツの質の向上を図ることにより、世界の教育放送の発展に資するとともに、国際的な理解と協力に貢献することを目的に、標記のコンクールを実施するにあたり、作品を募集している。

〈応募資格〉 応募作品の著作権を有する放送事業者、ケーブルテレビジョン、映像制作プロダクション、コンテンツ制作団体、教育研究機関、非営利活動法人。個人による応募は受け付けない。

〈カテゴリー〉 対象年齢やテーマによる以下6つ

トピックス

タブレット対応授業支援ソフトウェア
「SKYMENU CLASS」

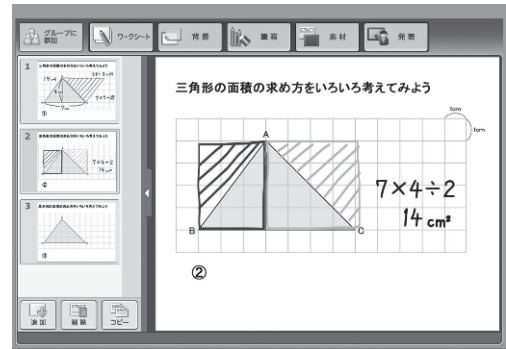
Sky(株)では、普通教室でのICT活用を支援するタブレット対応授業支援ソフトウェア「SKYMENU CLASS」を開発、今月より販売を開始する。

本ソフトウェアは、教員が教材を提示する際の、投影・ズーム・マーキング・付箋や、カメラ、ファイル保存といった機能を持つ。また、授業の進行をスムーズにするための教材や資料を一斉に配付・転送や、巡回表示、座席表示・学習者機状態確認という機能も備えている。

また、児童生徒にとって、自分の考えをまとめ、表現する際に活用できるデジタルワークシート(資料)や、複数の学習者機から同時に編集できるデジタルもぞう紙も搭載。一斉学習、個別学習、協働学習のそれぞれの場面を支援する。

「SKYMENU Class」は、コンピュータ教室の授業支援ソフトウェア「SKYMENU Pro」と連携。同じ校内サーバで運用でき、ユーザ管理などを一元化できる。

資料・タブレット上で教科等への書き込み、書き直しが容易に



※「SKYMENU Class」はWindows®版・iPad版有。それぞれ使える機能は異なる。動作環境等詳細は、下記〈SKYMENU Class Webサイト〉を参照のこと。

<http://www.skymenu-class.net/>

〈価格〉 オープン価格

〈問い合わせ〉 Sky株式会社ICTソリューション事業部 TEL 06-4807-6382

の 카테고리。①幼児、②児童、③青少年、④生涯教育、⑤福祉教育、⑥イノベティブ・メディア(年齢対象制限なし)

〈応募対象メディア〉 A テレビ番組/映画/ビデオ、B ウェブサイト、C ゲーム、D その他の双方向コンテンツ。詳細は、下記を参照のこと。

http://www.nhk.or.jp/jp-prize/index_j.html

〈賞〉 グランプリ日本賞、各カテゴリー最優秀賞、特別賞等。

〈締切〉 平成25年6月30日(日)必着。

〈問い合わせ先〉 NHK「日本賞」事務局

TEL 03-3465-6199

生活(地域の保健・福祉) ピース・クリエイト(有)「問われる住民の防災力—自助・共助の輪を広げよう—」、「まず命を守る備え—集合住宅・マンションの防災対策—」各[D]22分〈青年・成人、地域社会生活(防災予防・対策)〉(株)映学社
「大地震発生! 命と事業を守れ—職場の防災対策—」[D]22分〈青年・成人、職業生活一般(その他)〉(株)映学社

放送番組

「ティーンズプロジェクト フレ☆フレ」

Eテレ(土)17:55~18:25再放送(土)0:15~0:45※都合により番組内容変更有。

〈6月のテーマから〉○「2人で新しい世界を!—輪車ペア演技女子」、○「被災地を元気に!—福島・フラ・ボーイズ誕生—」、○「一緒に水面を“駆け”ませんか?—たった一人のボート部員」、○「ようこそ! カイジュウ・ショーへ 水族館・新人トレーナー」番組詳細は、下記を参照のこと。<http://www.nhk.or.jp/teens/>

文部科学省選定作品

■4月選定 〔紙〕紙しばい/〔E〕ビデオ/〔D〕DVD
「実験! 電気を学ぼう」[D]30分〈中学校、理科/少年、教養・情操(自然科学)〉(一財)関東電気保安協会

「世界—すてきな僕たち 私たちへ—響きあい育ちあう 発達の芽—」[D]94分〈中学校、道徳/高等学校、福祉/少年・青年・成人、地域社会